

伏木富山港伏木地区国際物流ターミナル整備事業  
費用便益の概要

様式-5

便益

項目	区分	単位当りの便益		便益(代表年)	
		単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	5,327	円/トン・年	陸上輸送コストの削減 (原塩、木質ペレット)	14.8 億円/年
		816	円/トン・年	海上輸送コストの削減 (原塩、木質ペレット)	2.1 億円/年
		290	円/トン・年	震災時における緊急物資の輸送コストの削減	0.0 億円/年
		28	円/トン・年	震災後の一般貨物輸送コストの増大回避	0.5 億円/年
	国際観光便益	20,000.0	円/人	外国人乗客者による消費金額	0.7 億円/年
公共部門便益	費用縮減	10.5	億円/年	航路泊地の埋没浚渫費用の削減	10.5 億円/年
		83.5	億円/年	土砂処分費用の削減	83.5 億円/年
		144.5	億円 (全体)	既存施設改良費用の削減	144.5 億円 (全体)
		0.8	億円/年	施設被害の回避	0.8 億円/年
残存価値		116.6	億円	防波堤等の残存価値	116.6 億円

\* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	防波堤、岸壁(-14m)、泊地(-14m)、道路等